

## 週報①

### 広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況(腸管病原菌含)

検出菌 ウイルス	2020年												2021年
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~3日
カンピロバクター	42	46	55	54	92	177	241	189	97	132	148	125	10
病原性大腸菌	22	34	39	30	24	63	60	76	52	42	41	52	2
腸管出血性大腸菌	1	0	0	0	1	4	0	2	1	2	0	0	0
サルモネラ	4	1	2	4	10	7	14	29	16	10	10	3	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	6	20	11	3	9	15	15	20	13	17	18	12	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	10	11	17	8	14	14	11	17	9	10	11	9	0
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	1	0	0	7	0	0	0	0
ロタウイルス	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アデノウイルス	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
ノロウイルス	10	14	6	1	0	0	0	2	0	0	0	1	0

## 週報②

### 広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和2年第53週(12月28日~1月3日)

#### 2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	2	結核	2					2		
三類	0	発生なし	0							
四類	1	レジオネラ症	1						1	
五類	3	侵襲性肺炎球菌感染症	1					1		
		梅毒	2					2		
指定	528	新型コロナウイルス感染症	528	12	15	42	7	363	20	69

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町  
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

**新型コロナウイルス感染症**

第53週に合計363件の報告があり、依然として感染者数が多い状況が続いています。  
 広島市では、幅広い年代で感染者が報告されています。活動機会が多い年代はもちろん、一人一人が健康管理に注意し、外出機会の削減、マスク着用、手洗いや手指消毒、「3密」の回避、身体的距離の確保、こまめな換気や室内の保湿などの感染対策を徹底しましょう。また、同居家族以外との会食を控えましょう。  
 発熱、咳などの症状があるときは、仕事や学校を休み、かかりつけ医やコールセンター(積極ガードダイヤル)082-241-4566 に連絡・相談しましょう。

**新型コロナ感染拡大防止集中対策 実施中！！**

広島県と広島市が連携し、令和2年12月12日(土)から令和3年1月17日(日)まで、集中的な感染拡大防止対策を実施しています。

**【集中対策の主な内容】**

- ・基本的な感染防止対策の徹底要請(「3密」の回避、マスクの着用、手洗いや手指消毒、外出機会の削減など)
- ・Web会議やテレワークの活用による出勤者の削減要請(5割目標)
- ・酒類提供飲食店の酒類提供時間及び営業時間の短縮要請

※詳細については、下記ホームページからご確認ください。

- ・広島県ホームページ 「新型コロナ感染拡大防止集中対策」の期間延長等  
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/2019-ncov/stop-infection-hiroshima.html>

**■定点把握感染症報告状況(週報対象)**

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	急増減		前週と比較しておおむね1:2以上の増減
													急増減	増減	
フィン	インフルエンザ	2	0.05	-	-		流行性耳下腺炎	1	0.04	-	-		急増減	↑	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
小児科	咽頭結膜熱	1	0.04	-	-		RSウイルス感染症	1	0.04	-	-		増減	↔	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	0.13	-	-		急性出血性結膜炎	-	-	-	-		微増減	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
	感染性胃腸炎	18	0.75	-	-		流行性角結膜炎	-	-	-	-		横ばい	↔	ほとんど増減なし
	水痘	-	-	-	-		細菌性髄膜炎	-	-	-	-				
	手足口病	4	0.17	-	-		無菌性髄膜炎	-	-	-	-				
	伝染性紅斑	-	-	-	-		マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-				
	突発性発しん	5	0.21	-	-		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	-				
	ヘルパンギーナ	9	0.38	-	-		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	-				

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	6
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

※第53週は、年末年始の医療機関休診の影響があるため、「定点把握感染症報告状況(週報対象)」の発生記号の表示を行っていません。

**■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)**

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	136	女性(30歳代)、女性(70歳代)
5	侵襲性肺炎球菌感染症	1	19	男性(40歳代)
5	梅毒	2	71	男性(20歳代)、男性(40歳代)